裁判員等経験者との意見交換会（令和6年９月９日開催）

（学生及び１０代、２０代の裁判員等経験者の方々）

裁判員制度

Aさん

・裁判員として参加することについて、会社内の若年層よりも、上の年代の人の方が理解があり協力的だった。
・小中高での教育の効果は大きいと思うので、裁判員制度についてもう少し掘り下げて教育すればよいと思う。

Bさん

・裁判員として色々な世代の人と話すことができて、よい経験になった。裁判官の議論の進め方などは非常に参考になり、自分が会議の進行役をする際などに活用している。
・裁判員を経験して、社会人としての責任感を感じるようになった。

Cさん

・評議の時間などは裁判官が話しやすい雰囲気を作ってくれて、やりづらさを感じることはなかった。
・裁判への関心が高まり、法廷ドラマなどを見た際には裁判の仕組みを考えるようになった。今後は傍聴にも行ってみたい。

Dさん

・情報量が多く最初は不安だったが、裁判官が筋道を立てて丁寧に説明してくれたので、理解しながら進めることができた。
・裁判員を経験したことで、議論の機会に自分の意見を述べることが多くなった。

若い世代の方へのメッセージ

・刑事裁判について怖いというイメージだったが、経験してみて本当に貴重な体験になってよかったと思えた。
・参加してみなければ分からなかったことが多く、参加すれば絶対によい経験になる。
・やりたいと思ってできるものではないので、機会があればやってみた方がよいと思う。
・若い時の経験は今後の人生にとって大きな意味がある。選ばれる確率は低いが、やってみたらかけがえのない経験になると思う。

司会裁判官からひとこと

今回は、若い世代の裁判員・補充裁判員の経験者の方々から、裁判員裁判に参加されたご感想やご意見をいただきました。幅広い年代の皆様にご参加いただく中で、「若い」ということは何の支障もないどころか、積極的に議論に参加いただくことも可能であり、さらには、その後の人生にとっても意味のある経験であるとのお言葉までいただき、大変心強く感じました。今後も、若い世代の方々を含めあらゆる世代の方々に、参加したい、あるいは、参加して良かったと思っていただけるような裁判運営や広報活動に一層努めて参りたいと思っております。

ご参加の皆さま、ありがとうございました。